

しちかしゆくまち ゆのはら
七ヶ宿町湯原集落

「いのししバスターズ」を実施しました

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲・丸森町筆甫・丸森町耕野の3地区で援農ボランティア活動の支援を行ってきました。これまでの参加者は、4年間で延べ約600人となり、各地域では、この活動を通じて特産品の生産継続や、東日本大震災による風評被害の払拭に取り組んできました。

そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として活動地域を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。

7月9日(日)に、七ヶ宿町湯原集落で獣害防止柵の設置をお手伝いする「いのししバスターズ」が開催されました。

炎天下の中でしたが38名の方に参加いただき、集落の方々もあわせると、総勢60名での作業となりました。

今回の設置場所は七ヶ宿町のブランド米である「源流米」を栽培している田んぼの周り。資材の運搬から設置まで、集落の方々と協力しながら4グループに分かれ、手分けして作業を進めました。



資材は、重いもので1つ約9kgもあり、運搬だけでも重労働です。

鉄筋を地面に打ち込み、ワイヤーメッシュと結束させていきます。





源流米を提供してくださった湯原集落の梅津さん



昼食は、湯原公民館で七ヶ宿町の「源流米」を使ったカレーライスが振る舞われました。参加者の皆さんは、美味しいお米とカレーを堪能していました。

昼食を食べた後、午後の作業の前に全員で記念撮影。



集落の方々の指導のもと、延長約1kmを設置しました。



湯原集落の山田区長さんからは、「受入れの準備は大変だが、最後はやってよかったと思える。とても助かった。」というお話をいただきました。
参加した皆さんからは、お米作りの大変さがわかった、鳥獣被害や高齢化の現状を実感したという声もあり、農業に触れる良い機会になったようです。

この活動を機に、七ヶ宿町の自然や、農産物に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。

この活動は、宮城県の「農山村集落体制づくり支援事業」の一環として行っており、宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。



参加していただいた皆様、ありがとうございました。